

第5回長野県U-11サッカー選手権大会（チビリンピック長野県予選）

— 大会規定 —

1. 参加資格 2019年度日本サッカー協会に登録されたチームで、選手は、2019年度選手証を有する、4月1日現在小学校5年生以下であること。
選手エントリーは、16名以上とする。但し、各試合において出場、ベンチ入りできる選手は試合毎登録された16名以上18名以内とする。
3級以上の審判員を帯同できること。
県代表2チームに選ばれた場合、北信越大会（3月福井県）への出場を義務付ける。
1クラブ（JFA登録チーム）から複数チームのエントリーを認める。ただし、チーム名は、JFA登録チーム名の後ろにA、B・・を付けるに留めること。
2. 試合方法 トーナメント戦
勝敗の決しない場合は、PK方式（3名）による。決勝戦のみ10分の延長ピリオド（前・後半5分）を行い、なお決しない場合はPK方式（3名）による。
3. 組み合わせ （一社）長野県サッカー協会4種委員会による責任抽選とする
4. 競技規則 2019年度競技規則（改正版）および8人制サッカー競技規則によるが、「チビリンピック競技規則」に従い、次を別に定める。
 - (1) 競技者の数 8人（内1名はゴールキーパー）とする。（常に8人とする。）
 - (2) 試合時間・方法 36分（12分×3ピリオド）
 - ①第1ピリオドと第2ピリオドは選手を総替えすること。同一選手が連続して出場することはできない。
また、同一選手の出場は2ピリオドとし、3ピリオド連続で出場することはできない。
 - ②けが、退場等で選手が退く場合、交代要員から補充しなければならない
この場合も、同一選手が3ピリオド連続で出場することはできない。
 - ③けが、出場停止処分等により16名揃わない場合のみ特例として同一選手が第1ピリオドと第2ピリオドに連続出場することを認める。
ただし、3ピリオド連続で出場することはできない。
この場合、メンバー表提出前に大会本部の了解を得ること。
 - ④第1ピリオドと第2ピリオドの間のインターバルはとらない。選手総替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、インターバル5分とする。
 - ⑤飲水タイムはとらない。必要な場合は、各ピリオド間またはアウトオブプレーの時、タッチライン上で飲水すること。
 - ⑥PK戦（3名）は、最終ピリオド終了時フィールドにいた選手のみに参加資格があるものとする。
 - ⑧第3ピリオドのサイドは、コイントスにて決定し、6分が経過した時点でサイドチェンジする。

⑨キックオフから直接得点することはできない。キックオフのボールが直接ゴールラインを越えた場合は、ゴールキックにより再開する。

(3)第3ピリオドに出場する選手は、第2ピリオド終了までに、第4審判に申し出れば良しとする。

(4)延長戦には選手の出場制限を設けない。

5. 選手交代 自由な交代ではない。再交代制（一度退いた選手も再び出場できる）を適用する。交代の進め方は競技規則第3条に則るが、交代カードは使用しない。

治療のため一時的にフィールドを離れる場合も、選手を補充し、常に8人としなければならない。補充した選手は、短時間であっても1つのピリオドに出場したことになるので、3つのピリオドに出場しないよう注意すること。

交代して退く選手は、最も近いタッチラインまたはゴールラインから退くこと。

6. 警告・退場

(1)退場および累積警告2回を受けた選手は、次の試合の出場を認めない。

以降の処分については、(公財)日本サッカー協会懲罰規定に基づき、(一社)長野県サッカー協会規律委員会において裁定する。

(2)退場を受けた場合、ベンチ入りしている選手から補充しなければならない。

7. 審判

(1)チーム帯同制により、4人制を採用する。

(2)準々決勝以降は、審判委員会派遣ユース審判員および4種委員会審判員による。

(3)主審は、3級以上の審判員とする。

副審、4審のみの割り当てであっても、3級以上の審判員1名を帯同しなければならない。

(4)主審、予備審判とも、審判服（シャツ、パンツ、ストッキング、ワッペン）を必ず着用すること。

審判服の色は、黒色のみとする。

8. 注意事項

(1)キックオフ60分前にマッチミーティングを行い試合に用いるユニフォームを決定する。

(2)各試合、選手証の携行を義務付ける、選手証を携行しない場合、試合に出場することは出来ない。

電子選手証の提示も認める。

(3)各チーム（監督・コーチ・選手）は、スポーツ障害保険に必ず加入済みのこと。

(4)競技中の障害（病気）事故については、チームの責任とする。

(5)大会エントリー選手の変更は、チームの最初の試合1時間前まで認める。